

平成23年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 458

政策体系	21	事業分類	ソフト事業	所管部局	農林商工部 農林整備課
会計	一般会計	科目	6. 農林水 - 2. 林業費 - 2. 林業振 現年		
事業名	温室効果ガス吸収源対策森林整備事業				
細事業名	里山荒廃防止対策事業				
				評価表作成者	農林商工部 農林整備課 谷 裕之

1. 事業の概要

松くい虫防除事業の実施
被害木伐倒処理・伐倒駆除・樹幹注入

2. 事業の目的と必要性

- ①施策で目指す目標との関連付け
特用林産物生産の維持、自然環境と森林資源の保全のために実施をするものである
- ②事業を実施する必要性
天然林の荒廃や消失により絶滅危惧種が増加し、生物多様性の低下が生じてきており、あわせて松くい虫被害による特用林産物生産の維持が危ぶまれている状況があり、事業の継続は必要不可欠である

3. 事業費の推移

		単 位	平19決算	平20決算	平21決算	平22決算	平23予算	平24計画	平25計画
決算額または計画額		千円			34,976	45,287	62,185	0	0
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等		千円			0	0	0	0	0
財源内訳	使用料・手数料等	千円			0	0	0	0	0
	国・府支出金	千円			34,975	45,286	62,185	0	0
	地方債	千円			0	0	0	0	0
	一般財源	千円			1	1	0	0	0
職員等の従事人員		人/年	—			0.10			
人件費		千円	—			646			
事業費総額		千円	—			45,933			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。
※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

4. 主な事業費の内訳

松くい虫被害木伐倒処理、樹幹注入の実施 45,287,160円（委託料）

5. 事業結果の概要

被害木伐倒処理 4,800m³
樹幹注入 薬剤6,850本

6. 活動の詳細

(1) 伐倒処理等		
特用林産物の維持、自然環境と森林資源の保全のために被害木伐倒処理等を行う。 (温室効果ガス吸収源対策森林整備事業) 樹幹注入 6,850本 被害木伐倒処理 4,800m ³	平成22年5月～ 平成23年3月	松枯れ被害の蔓延を防止し、丹波マツタケの収穫量の減少を食い止め、あわせて景観保全を保ち、風倒木による人的被害防止等が図れた。

7. 所属長評価 [平成20年度から改善した点、今後の展開など]

松くい虫等の森林病害虫被害の拡大による里山荒廃の防止対策の推進を図り、美しい景観の保全形成や防災上重要な松林等の再生を図る必要がある。

【参考】過年度の評価

■平成22年度の所属長評価

ナラ枯れ・松くい虫等の森林病害虫被害や放置竹林の拡大による里山荒廃の防止対策の推進を図り、美しい景観の保全形成や防災上重要な松林等の再生を図る必要がある。

■平成21年度の所属長評価